

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 名張市立名張小学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒518-0718
名張市丸之内55番地

E-mail g01_e-nabari@nabari-mie.ed.jp

Website http://www.nabari-mie.ed.jp/e-nabari/

児童生徒数 男子 151 名 女子 171 名 合計 322 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

〔1年生〕

- ・学校探検や1年生を迎える会で、上級生や先生に、学校について質問をしたり、一緒に遊んでもらったりすることを通して、コミュニケーション力を養うことができた。
- ・生活科であさがおやさつまいも・大根、チューリップを育てることで、生長過程を知り、自然に親しむことができた。
- ・国語「どうぶつの赤ちゃん」や生活「わたしのかぞく」の学習で、命の大切さや自尊感情を育むことができた。
- ・図工「おにのかお」作りや生活科「昔から伝わる遊び」を通して、日本の伝統や文化を知ることができた。
- ・「昔遊び」の学習・体験を通して、日本の伝統や文化を知ることができた。

〔2年生〕

- ・生活科でさつまいも作りをした。学校近くの苗屋さんに来ていただき、植え方を教わった。学級園に苗を植えた後、水やりと草抜きの世話をし、みんなで育てた。収穫後、スイートポテトを作り、みんなで食べた。さつまいもの跡地には、人参の種をまいて育てた。野菜が育っていく様子を常に観察し、食べ物を大切にす気持ちを持つことができた。
- ・町探検では、自分たちの住んでいる町をみんなで歩いた。施設見学などをさせてもらい、さらに名張の町に親しみを持つことができた。

〔3年生〕

- ・名張市在住の李さんをお招きし、韓国の楽器や服装について教わった。特に国語科「3年とうげ」に出てくる楽器や天下大將軍の碑の実物を見ることで韓国の文化に親しみを持つことができた。
- ・名張の町探検では、校区内の施設や町を探検し、名張の町のよさに触れることができると共に、自分たちが住んでいる地区を別の地区の児童に伝えることができた。
- ・しょうゆものしり博士をお招きし、大豆から作られるしょうゆについて教わった。国語科「すがたをかえる大豆」で学んだことを活かしながら、実食することや実物を見ることを通して、日本の食文化であるしょうゆについて詳しく知ることができた。

〔4年生〕

- ・富貴ヶ丘浄水場を見学して、私たちが普段学校や家庭で使っている水について学習した。何気なく使っている水道水もいろんな検査や、行程を経て自分たちの元へ届いていることを学習した。
- ・市役所の方に来ていただいて、回収されたゴミがどんな風に処理されているのか、普段の仕事の内容、ゴミを出すときに気をつけて欲しいことなどの話を聞いた。また、チップー車が木の枝などを粉碎する様子を見学した。普段特に気にせず出していたゴミについて知り、減らすための努力が必要なこと、自分たちにできることはどんなことがあるのかを考えた。

・名張消防署に行き、消防士のかたの普段の仕事や施設、消防車量の見学をした。町を守るための工夫や日々の努力などを学習した。

〔5年生〕

・「曾爾野外活動を成功させよう！」では・キャンプファイヤー実行委員、つどい実行委員、出し物実行委員、しおり実行委員に分かれて、曾爾野外活動を成功させるために活動した。

・「わくわく探県隊 ～日本の都道府県を調べ、伝えよう！」では3名一組で一つの県を担当し、図書室の本、名張図書館の本、インターネットなどを使って、人口、面積、人口密度、主な産業、特色（県の抱える問題点やセールスポイントなど）を調べた。また、調べたこととはっぴょう名人（児童用プレゼンテーションソフト）でまとめ、プレゼンテーションをした。

・「六送会プロジェクト」では実行委員、飾り付け委員、演奏委員に分かれ六送会を成功させるために活動した。

〔6年生〕

・「部落問題を考える小学生の集い」に向けて、参加する児童だけでなく、学年全体で人権学習に取り組んだ。集いを終えての交流や、学年集会を通して友だちとの関係を深める言葉、関係をきってしまう言葉について考えた。一年間の様々な活動を通して、よりよい仲間作りに向けて意識して行い、卒業式では学んだ事やこれからの自分に生き方についての決意表明をする。

・修学旅行で「人と防災未来センター」を見学し、語り部の方の話を聴いた。シアターで震災体験をしたり、展示物を見たりすることで、復興へ向かう人々のエネルギーを感じることができた。

・外国語活動を通して様々な国の人々の生活や文化に触れることができた。また、韓国出身の李先生を講師に招き、ハングル文字カルタを楽しむ活動を行った。楽しみながら、ハングル文字に興味を持つことができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）